

野口 春華 Haruka NOGUCHI

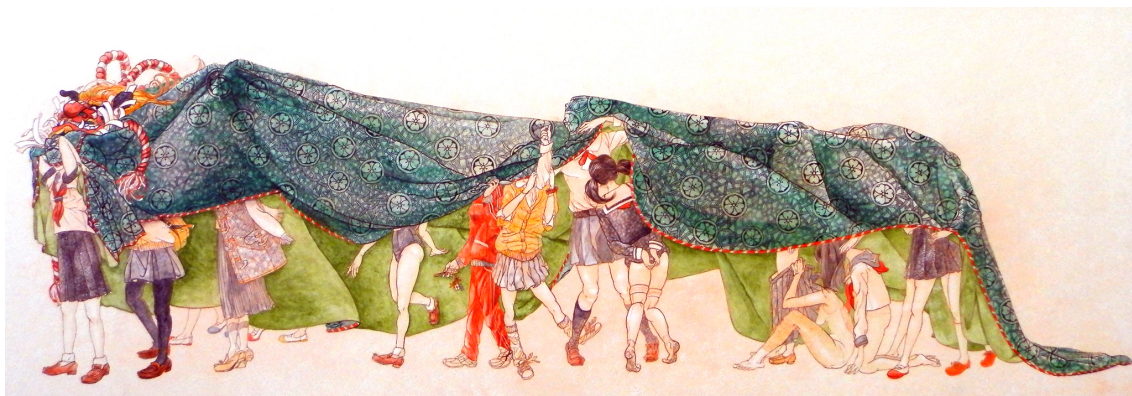
「サナギ」

会期：2012年11月13日（火）－17日（土） 9:00～19:00

会場：沖縄県立芸術大学 崎山キャンパス彫刻棟2階 演習室

彫刻演習室では、11月13日（火）から17日（土）まで、野口春華個展「サナギ」を開催致します。野口自身初めての個展となる本展では、日本画を中心に版画やドローイング、野口が様々な手法で制作した新作を含む8点で構成されます。

本展のコンセプトを聞いた私に、野口はこう答えた“はやく大人になりたい”その言葉が意味するように本展は「サナギ」と名付けられた。また、この言葉には彼女の現在の心境や立ち位置から発せられた言葉の様にも聞こえる。サナギの様に固く守られた現状から、はやく大人になって自由に空を飛び回りたい。そこには希望と共に不安が同居している。現在、野口は日本画コースの4年に在籍している。卒業を間近に控えた彼女は今まさに羽化へ向けての準備段階に入っている。野口の作品は日本画という手法を用いながらも、どこかその表現はイラスト的で軽快ささえ感じさせる。それは徹底したデッサン力と線を選択する力に長けているからであろう。「獅子舞み」ではその力が如実に現れている。また本作では野口の持つ女子高生への愛着や脚に対してのフェチズムが垣間見える。女子高生達は様々なコスチュームに身を包み、顔は獅子舞みあるいはスカートで覆われ、それぞれを個としてではなく女子高生、あるいは肉体として捉えられている。またアニメやマンガなどの影響を受けてきたこの世代特有の価値観、表現手法も野口は獲得している。彼女の新鮮な感性と表現を是非とも多くの方にご覧頂きたい。



獅子舞み 2011 紙本着彩 岩絵具 水干 墨 胡粉 牛乳 55×130cm

【野口春華プロフィール】

1991年熊本生まれ。現在、沖縄県立芸術大学美術科絵画専攻日本画コースの4回生。

主なグループ展に2011年の「For the ART #5 -混沌の時代へ-」（沖縄）、「一寸先はレインボウ」（熊本）、2010年「STARBACKS ART展」（博多）などその他出品多数。